

公開講演会

# 北太平洋における 持続的な資源管理

Long-term stewardship in the North Pacific

参加無料・事前申込不要  
どなたでもご参加いただけます  
使用言語は英語です

近年の北米西海岸における考古学的・人類学的研究によって、持続的な資源の利用と増産、環境変動時の具体的な対応など、先住民が長期的な歴史のなかでとってきた知識や方法、またそれがヨーロッパ諸国の進出によってどのように変化したのかが明らかになってきている。これらを紹介するとともに、広く北太平洋全体を理解するために北海道との比較の可能性を考える。



2026年5月17日(日)  
13時～16時

立教大学池袋キャンパス  
8号館5階 8505教室



【話し手】

ベン・フィッツヒュー Ben Fitzhugh 氏  
ワシントン大学人類学部教授，北海道大学特任教授

専門は、北太平洋沿岸の考古学、人類学。2000年代に千島列島での国際的な研究プロジェクトを率いたほか、アラスカ南部コディアック島において先住民との協働を基盤として遺跡の発掘調査を長年にわたって継続している。北太平洋全体を視野におさめたスケールの大きな研究と、考古学・人類学のみならず古環境学、古人口学、古生態学、統計学などと緊密に連携した学際的な研究を推進してきている。

【問合せ】

- ◆高橋 健 (立教大学 学校・社会教育講座学芸員課程)  
TEL: 03-3985-3829
- ◆高瀬克範 (北海道大学考古学研究室)  
メール: takase@let.hokudai.ac.jp

【主催】北海道大学考古学研究室 【共催】立教大学 学校・社会教育講座学芸員課程